

# 2022年度 副科実技の履修希望申請について

## 注意事項（副科ピアノを除く全楽器共通事項）

<p><b>【履修条件】</b></p> <p>①学部1年次生、大学院生及び別科生は履修出来ません。ただし、「副科合唱」「副科指揮法」は学部1年次生も履修できます。（※<b>補足事項1</b>参照）</p> <p>②1年間に履修できる科目数は専攻により異なるため、※<b>補足事項2</b>の表を確認して下さい。なお、「副科合唱」「副科指揮法」「副科ピアノⅠ、Ⅱ」は、この履修制限科目数に含まれません。</p> <p>③中級の履修は、原則としてその楽器の初級の単位を修得し終え、試験・オーディション等に合格した者に限ります。（ただし、副科弦楽器の中級・上級については※<b>注1</b>【副科弦楽器について】を参照すること。）</p> <p>④2022年4月1日（金）に副科実技担当教員が発表され、順次教員室から面談日に関するご連絡があります。履修予定者は、教員室からの連絡により面談日時を把握し、担当教員による面談を受けてから履修開始となります。面談に出席しない者に対しては、履修を認めません。</p> <p>⑤一度単位を修得した科目は再履修できません。</p> <p>※<b>専攻により副科の履修年度が定められている場合があるため、各自履修便覧の副科実技のページ及びカリキュラム表を併せて確認すること。</b></p> <p><b>【履修者の決定】</b></p> <p>履修希望者が定員を超過した場合、履修者は※<b>補足事項3</b>の基準に則り決定します。（副科古楽は除く。詳細は古楽備考欄を参照。）</p> <p>履修者決定のお知らせは後日掲示で発表します。（2022年1月頃予定）</p> <p>その結果、全て落選した者に対しては、後日期日を定め、定員に対して空きが出た楽器に限り追加での履修希望申請を認めます。詳細は、2月下旬頃に対象学生宛に送付されるメールをご確認ください。</p>	<p>【履修希望申請・履修登録・履修辞退】</p> <p>&lt; STEP1. &gt;</p> <p>各注意事項等をよく読んで、履修希望受付期間内に「2022年度【副科実技】履修希望申請フォーム」より申し込んでください。</p> <p>■履修希望受付期間： 2021年11月3日（水）16:00～11月12日（金）16:00</p> <p>※楽器により受付期間が異なる場合があるため、下記科目一覧を確認してください。</p> <p>■申請フォーム掲載場所： 藝大HP&gt;学生生活&gt;お知らせ&gt;音楽学部・研究科&gt;2022年度 副科実技・専攻外古楽・和楽器実技・邦楽科尺八専攻副主専攻流派について</p> <p>※全員必ず第3希望まで入力してください。</p> <p>※1人1回のみ申請可能。一度申請した科目は、変更や修正はできません。（2回以上申請があった場合、最後の申請のみ有効とします。）</p> <p>※履修希望受付期間後の追加受付は一切出来ません。</p> <p>※申請時、必ず自分の専攻実技指導教員（楽理科学生は学年担任教員、音楽環境創造科学生は担任教員）へ各副科楽器を履修希望する旨を伝えてください。</p> <p>（右上に続く）</p>	<p>&lt; STEP2. &gt;</p> <p>申請時に自身で登録したメールアドレスに受付完了通知メールが届くので、必ず確認してください。メールが届かない場合は、申請が受理されているかを<b>申請期間内</b>に教務係へ確認に来ること。申請したつもりでも、きちんと送信・受理されていない場合、申請期間終了後の追加受付は出来ませんのでご注意ください。</p> <p>&lt; STEP3. &gt;</p> <p>履修が認められた科目は、来年度（2022年度）4月の履修登録期間にCampus Planで忘れずに登録してください。</p> <p>「2022年度【副科実技】履修希望申請フォーム」で申請をしただけでは履修登録は完了しません。<b>Campus Planでの履修登録が出来ない場合、当該副科実技楽器の2022年度の履修はできません。</b></p> <p>※履修希望申請後の、自己都合による取消は認めません。ただし、やむを得ない理由により履修辞退を希望する場合は、「副科実技履修辞退願」に所定事項を記入の上、副科実技担当教員の承認・署名を得た後、教務係へ提出してください。</p> <p>この手続きを経ずに履修を放棄したものを、試験を受けないものは、以後、当該副科実技楽器の履修を一切認められなくなります。（「副科合唱」「副科指揮法」「副科ピアノⅠ、Ⅱ」を除く）</p> <p>■副科実技履修辞退願掲載場所： 藝大HP&gt;学生生活&gt;お知らせ&gt;音楽学部・研究科&gt;2022年度 副科実技・専攻外古楽・和楽器実技・邦楽科尺八専攻副主専攻流派について</p>
--	--	--

## 2022年度開講予定科目一覧

開設教員室	楽器名	履修希望受付期間	フォームでの申請	開設級	申請フォームNO.	備考1（楽器ごと）	備考2（開設教員室ごと）
声楽	独唱	2021年11月3日（水）16:00～ 2021年11月26日（金）16:00	必要	初級	-	独唱初級は、教職課程履修者、作曲・指揮科学生のうち選択科目として履修を希望する者、及び音楽環境創造科学生に対してのみ履修を認める。 副科独唱中級は、開設しない。 ※授業で使用する楽譜を、自分で購入する場合があります。詳しくは初回レッスン時に説明があるので、注意すること。	
	合唱	2022年4月にCampusPlan上で各自履修登録	不要	-	-	合唱は、教職課程履修者、作曲・指揮科学生のうち選択科目として履修を希望する者、及び音楽環境創造科学生に対してのみ履修を認める。 ※授業で使用する楽譜を、自分で購入する場合があります。詳しくは初回レッスン時に説明があるので、注意すること。	
オルガン	オルガン	2021年11月3日（水）16:00～ 2021年11月12日（金）16:00	必要	初級	1	人数によっては、受講できない場合がある。応募多数の場合はオーディション、または面接を行うことがある。	
				中級	2		

開設教員室	楽器名	履修希望受付期間	フォームでの申請	開設級	申請フォームNO.	備考1(楽器ごと)	備考2(開設教員室ごと)
弦楽	ヴァイオリン	2021年11月3日(水) 16:00～ 2021年11月12日(金) 16:00	必要	初級	3	ヴァイオリン(初級)は、履修登録者数を10名に制限する。	<p>※注1【副科弦楽器について】 副科弦楽器中級は、オーディションに合格した者に対してのみ履修を認める。 なお、中級オーディションは、過去に初級の単位を修得していない者でも受けることができる。 すでに初級の単位を修得済みの場合、再度初級の履修はできない。</p> <p>■副科弦楽器中級オーディション予定日 ・副科ヴァイオリン(中級) 日時: 10月26日(火)17時～ 場所: 4-101 <u>オーディション審査への参加を希望する学生は下記期間内にフォームから申請すること。</u> 2021年10月4日(月)16:00～2021年10月21日(木)16:00 副科ヴァイオリン中級オーディション募集フォーム <a href="https://forms.gle/zPzGXK5B3Bu99dEp8">https://forms.gle/zPzGXK5B3Bu99dEp8</a> ※オーディション合格者は履修希望受付期間中(2021年11月3日(水)16:00～2021年11月12日(金)16:00)に申請フォームより「副科ヴァイオリン中級」を第1希望として履修希望申請を必ず行うこと。</p>
				中級	4	ヴァイオリン(中級)オーディションで不合格になった者は、初級の履修希望申請を行うことができる。	
	ヴィオラ			初級	5	ヴィオラ(初級)は、保有台数が十分でなく、大学から楽器を貸し出すことができないため、自分で楽器を用意できる者のみ履修できる。ヴァイオリン専攻生はヴィオラを初級から履修することはできない。ヴァイオリン以外の弦楽器専攻生は、初級から履修できる。	
				中級	6	ヴィオラ(初級)オーディション合格者が受講可能。ヴァイオリン専攻生は中級から履修すること。履修希望申請を中級で申請し、中級オーディションを受けること。中級オーディション不合格者は、初級の定員に空きがあり、楽器を所持している場合のみ初級の受講を認める。	
				上級	7	ヴァイオリン専攻の学生で、中級の単位を取得した者に限る。上級オーディション合格者が受講可能。2年まで履修することができる。	
	チェロ			初級	8	チェロ(初級)は、履修登録者数を若干名に制限する。	
				中級	9	チェロ(中級)オーディションで不合格となっても初級は履修できない。	
	コントラバス			初級	10	コントラバス(初級)は、履修登録者数を10名に制限する。(うち、楽器未所有者は3名に制限する。)	
				中級	-	コントラバス(中級)はオーディションを含めて実施、開講しない。	
	管打楽			フルート	2021年11月3日(水) 16:00～ 2021年11月12日(金) 16:00	必要	
オーボエ		初級	12	履修登録者数を5名に制限する。(ただし、楽器を所有していない学生は3名までとする)			
クラリネット		初級	13	履修登録者数を8名に制限する。			
サクソフォーン		初級	14	履修登録者数を6名に制限する。(ただし楽器所有者の場合は6名を超えて履修を認めることがある。)			
ホルン		初級	15	履修登録者数を4名に制限する。 <u>(担当教員と相談の上マウスピースを各自準備すること。)</u>			
トランペット		初級	16	履修登録者数を5名に制限する。 <u>(初級者に限る。担当教員と相談の上マウスピースを各自準備すること。)</u>			
トロンボーン		初級	17	履修登録者数を3名に制限する。(楽器所有者に限る。)			
打楽器		初級	18	履修登録者数を5名に制限する。			
		中級	19	履修登録者数を5名に制限する。(初級の単位を修得済みの学生)			

開設教員室	楽器名	履修希望受付期間	フォームでの申請	開設級	申請フォームNO.	備考1 (楽器ごと)	備考2 (開設教員室ごと)
古楽	チェンバロ	2021年11月3日(水) 16:00~ 2021年11月12日(金) 16:00	必要	各古楽器について、初級および中級あり	20・21	<p>○チェンバロ初級 geidaikogaku@ml.geidai.ac.jp 演奏とコメントを合わせた5分程度の動画を作成し、11/12(金)の朝9時までに上記のメールアドレスまで送信すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲目はチェンバロで弾いてみたいルネサンスやバロックの作品から任意の曲を演奏する。使用楽器はチェンバロ、スピネット、ピアノ、なければキーボードでも良い。</li> <li>・コメントは志望動機、チェンバロに関する思いやエピソード、また履修後の希望などを含めること。</li> <li>・撮影方法は各自可能な範囲で行うこと(スマートフォンなど簡単に撮影できるものでも良い)。</li> <li>・動画がメールに添付できない場合は、YouTubeに限定公開を行ったうえで、リンク先を送信すること。</li> </ul>	<p>副科古楽(初級)の履修にあたって、楽器によって受講資格に制限があるもの、または受け入れ可能人数の関係で動画や志望動機をもとに選抜をおこなうものがある。そのため、教務係への申請フォーム提出と同時に、動画の提出などの事前コンタクトが必要となる楽器があるので、履修申請にあたっては下記の注意事項をよく読むこと。なお、中級の申し込みにはそのような別課題の提出は不要である。(※1)</p> <p>※1 選抜にあたっては第1希望欄に記入している者を優先する。</p> <p>※2 初級履修を希望する者で、上記の動画・志望理由の提出方法に質問がある学生は、早めに古楽研究室 geidaikogaku@ml.geidai.ac.jpまで問い合わせること。</p> <p>※3 バロックオーボエ履修者は、ローレ社のイングリッシュホルンのチューブ(金メッキ)2本を用意して初回のレッスンに臨むこと。</p> <p>※4 副科古楽(バロックヴァイオリン、バロックチェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ)について、大学所有の楽器を借用して履修する場合、替え弦の一部が自己負担になる。詳しくは、初回レッスン時に説明があるので注意すること。</p>
	フォルテピアノ				22・23	<p>○フォルテピアノ初級 geidaikogaku@ml.geidai.ac.jp 詳しい志望理由を記載したメールを、11/12(金)の朝9時までに上記のメールアドレスまで送信すること。</p>	
	バロック・ヴァイオリン				24・25	<p>○バロックヴァイオリン初級 geidaikogaku@ml.geidai.ac.jp 詳しい志望理由を記載したメールを、11/12(金)の朝9時までに上記のメールアドレスまで送信すること。</p>	
	バロック・チェロ				26・27	<p>チェロ専攻を対象とする。 事前コンタクト不要。</p>	
	ヴィオラ・ダ・ガンバ				28・29	<p>事前コンタクト不要。</p>	
	フラウト・トラヴェルソ				30・31	<p>○フラウト・トラヴェルソ初級 geidaikogaku@ml.geidai.ac.jp フルート専攻の学生は事前コンタクト不要。それ以外の専攻の学生は、任意の曲をモダン・フルート、もしくはトラヴェルソで3分程度演奏している動画を作成し、11/12(金)の9時までに上記のメールアドレスまで送信すること。</p>	
	バロック・オーボエ				32・33	<p>オーボエ経験者に限る。 事前コンタクト不要。</p>	
指揮	指揮法	2022年4月にCampusPlan上で各自履修登録	不要	-	-	<p>過年度に「副科指揮法(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)」または「指揮法概論(A、B)」の単位を1つでも修得済みの学生は、履修申請出来ません。</p>	<p>「副科指揮法」は1年次生も履修可能だが、履修希望者数が上限を超過した場合には、上級生を優先して履修させることとする。</p>

開設教員室	楽器名	履修希望 受付期間	フォーム での申請	開設級	申請 フォーム NO.	備考1 (楽器ごと)	備考2 (開設教員室ごと)
邦楽	長唄三味線	2021年11月3日 (水) 16:00~ 2021年11月12日 (金) 16:00	必要	初級	34	木撥、指掛け、膝ゴムの三点セット 6,600円 木撥 5,500円 指掛け 770円 膝ゴム 330円 初回レッスン時に収める。	①副科邦楽器は、全楽器初級のための開設である。 (中級は開設しない。) ②人数によっては開講できない場合もある。
	長唄			初級	35	譜面 1,100円 レッスン時に収める。	
	常磐津三味線			初級	36	セット内容 プラ撥 5,500円 木駒高さ四分程度 4,800円 膝ゴム 640円 (320円 X 2枚)	
	清元三味線 ※2022年度 不開講			初級	-	指かけ 770円 (希望者には2枚 770円 x 2) 合計 11,710円 レッスン時に収める。	
	清元			初級	37		
	常磐津 ※2022年度 不開講			初級	-		
	邦楽囃子 (小鼓)			初級	38	2018年度以降邦楽囃子 (小鼓・大鼓・太鼓・笛) は履修登録者を制限する。	
	邦楽囃子 (笛) ※2022年度 不開講			初級	-	笛 (7本笛、プラスチック管) 1,800円 初回レッスン時に収める。	
	箏曲 (山田流)			初級	39	爪1組 5,800円 テキスト 2,000円 消耗品費 1,500円 初回レッスン時に収める。	
	箏曲 (生田流)			初級	40	爪1組 5,800円 テキスト 2,000円 消耗品費 1,500円 初回レッスン時に収める。	
	尺八			初級	41	使用楽器:一尺八寸管 (備品を無料貸出し可能) 購入物品: 露切り 1,000円 (自作の物でも可) 初回レッスン時に収める。	
	能楽 謡曲 (宝生流)			初級	42	教則本に沿って能の謡を学ぶ。希望者は教則本の購入も可。	
	能楽 謡曲 (観世流)			初級	43	教則本に沿って能の謡を学ぶ。希望者は教則本の購入も可。	
	能楽 狂言 (和泉流)			初級	44	教則本に沿って狂言の基礎を学ぶ。希望者は教則本の購入も可。貸出可能物品は「扇」。履修者は白足袋持参。	
	能楽囃子 (笛) ※2022年度 不開講			初級	-	教則本に沿って能楽囃子 (笛) の基礎を学ぶ。希望者は楽器・教則本の購入も可。	
	能楽囃子 (小鼓) ※2022年度 不開講			初級	-	教則本に沿って能楽囃子 (小鼓) の基礎を学ぶ。希望者は楽器・教則本の購入も可。	
	能楽囃子 (太鼓)			初級	45	教則本に沿って能楽囃子 (太鼓) の基礎を学ぶ。希望者は楽器・撥・教則本の購入も可。	
	能楽囃子 (太鼓) ※2022年度 不開講			初級	-	楽器を使用なしレッスンのため原則開講しない。	
	日本舞踊			初級	46	ガイダンス (面接) を実施するが、その結果受講できない場合がある。 浴衣・帯・白足袋・腰ひもを初回レッスンまでに準備すること。	
雅楽	初級	47	龍笛 5,400円 (プラスチック樹脂製購入代金) 箏 7,320円 (プラスチック樹脂製購入代金) (リード代金含む) 笙 楽器貸出可 (楽器メンテナンス料15,000円)				

開設教員室	楽器名	履修希望 受付期間	フォーム での申請	開設級	申請 フォーム NO.	備考1 (楽器ごと)	備考2 (開設教員室ごと)
ピアノ	副科ピアノ I (必修)	2022年4月に CampusPlan上で 各自履修登録	不要	-	-		
	副科ピアノ II (選択)	2022年1月5日 (水) 10:00~ 2022年1月14日 (金) 16:00	必要	-	-	詳細については、12月に掲示予定。	

# 副科実技についての補足事項

## ※補足事項1【履修対象者について】

学年		履修可否
学部生	1年次生	× (「副科合唱」、「副科指揮法*」は1年次生も履修可能。)
	2年次生	○
	3年次生	
	4年次生以上	
大学院生	—	×
別科生	—	×

\*「副科指揮法」は1年次生も履修可能だが、履修希望者数が上限を超過した場合には、上級生を優先して履修させることとする。

## ※補足事項2【一年間に履修可能な楽器数について】

専攻	一年間の履修制限科目数	備考
作曲	2科目まで履修可	「副科独唱」 「副科合唱」 「副科指揮法」 「副科ピアノⅠ、Ⅱ」は、 この履修制限科目数に含まれません。
声楽	1科目のみ履修可	
ピアノ		
オルガン		
弦楽		
管打楽		
古楽		
指揮	2科目まで履修可	
邦楽		
楽理		
音楽環境創造		

## ※補足事項3【履修希望者が定員を超過した場合について】

履修希望者が定員を超過した場合は、以下の基準に則り履修者を決定します。

- ①希望順位（各自第3希望まで記入してもらいます。）
  - ②専攻（副科の履修が必修もしくは選択必修である指揮科・音楽環境創造科の学生を優先します。）
  - ③学年（上級生を優先します。）
- 上記の基準により決定出来なかった場合は、ランダム抽選とします。  
(副科古楽は除く。詳細は古楽備考欄を参照。)

## 【その他伝達事項】

専攻	伝達事項
邦楽科	<p><b>【邦楽科学生へ注意事項】</b></p> <p>(1) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線、長唄・常磐津・清元及び日本舞踊のカリキュラムにおいて、必修科目の「副専攻（邦楽囃子実技）」は「打物」（大鼓・小鼓・太鼓）の中から年間1種目のみ」単位が認定される（履修希望調査票の提出は必要ない）。</p> <p>(2) 他の邦楽囃子実技を同時に履修した場合は、「副科邦楽実技」の単位枠の中で処理される（副科実技履修希望調査票の提出が必要）。</p> <p>◆邦楽科副専攻実技の履修について</p> <p>(1) 常磐津・清元の学生が、必修科目以外で他様式の浄瑠璃を履修する場合と、能楽の学生が、必修科目以外で他様式の能楽を履修する場合は、邦楽教員室へ問い合わせること。</p> <p>(2) その他の専攻の学生が、副専攻実技を履修する場合、必修科目については履修希望調査票の提出を必要としない。</p> <p>◆尺八専攻学生の副主専攻履修について</p> <p>二年次以降の副主専攻「箏曲実技」「三絃実技」の履修について別途申込みが必要となる。『「箏曲実技」・「三絃実技」について』の要項を確認して、フォームから申請すること。</p>
音楽環境創造科	<p><b>【音楽環境創造科学生へ注意事項】</b></p> <p>副科実技の具体的な受講曜日・時間等は、通常新学期（4月）初めの副科実技担当教員との面談を経て決定される。</p> <p>しかし、副科実技は原則的に上野校地で開講するため、上野校地に登校する機会が少ない本科学生のスケジュールが、実技担当教員のそれと必ずしも一致するとは限らない。</p> <p>従って、今回履修希望調査票の提出をしても、その副科実技を必ず受講できるというものではなく、あくまでも副科実技担当教員とのスケジュールが一致した場合のみ受講が可能となるので、この事情に留意すること。</p>